

震災豫防調査會報告 第八十八號乙

本邦大地震概表

委員 理學博士 大森房吉

本會報告第二十六號ニ於テ先ヅ大日本地震史料目錄ノ刊行アリ、第四十六號甲乙ヲ以テ大日本地震史料ノ完成ヲ見タリ、更ニ第六十八號甲乙ニ本邦大地震概説ヲ載セタルガ、此等ハ主トシテ最古ヨリ慶應三年迄ノ地震ニ關スルモノトス、本報文ハ本邦内地并ニ臺灣ニ發セル破壞的地震ノ概表ニシテ、最古ヨリ現時ニ及ビ、各地震ニ就キ簡單ニ記述シ、以テ古來本邦震災ノ大要ヲ一目瞭然ナラシメンコトヲ目的トセリ、大日本地震史料ニ含有セラレザル明治以後ノ破壞的地震ニ關シテハ稍詳細ニ記述スルコト、ナシタリ。

本報文編成ノ資料中主ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ。

大日本地震史料（震災豫防調査會報告第四十六號甲乙）

本邦大地震概説（同第六十八號甲乙）

・ 震災豫防調査會報告第一號乃至九十號中近年大地震ニ關スル調査論文

中央氣象臺地震報告「氣象要覽」

東洋學藝雜誌震災豫防調査會記事

臺北測候所氣象地震報文

朝鮮ニ關シテハ故本會委員理學博士和田雄治氏ノ調査ニナレル地震表アリ、朝鮮總督府觀測所學術報文中ニ載セラレタリ。朝鮮ノ地震ハ内地及臺灣ニ於ケルガ如ク頻繁激烈ナラズ、最強ナルモノニテモ死傷者百餘人ヲ出ダセルニ止マレリ。

明治二十四年十月二十八日濃尾大地震

根尾谷大斷層 (X) 大斷層

(震災當時ニ於ケル岐阜測候所ノ撮影ニヨル)



第一圖 根尾谷水島村ノ大斷層

(前方即チ西南側ハ比較的ニ低落セル
コト十八尺ニ及ブ、斷層ヲ横ギレル
道路モ上下二段トナレリ)

斷層ノ直ニ近モ倒潰ル農家アリ



第二圖 同上 (道路ノ正面ヨリ望ム)

斷層ノ爲メ道路ノ左右ニ移動セルコト九尺ニ及ブ

(明治四十一年大森撮影)

震地大義嘉灣臺日七十月三年九十三治明
 (影撮森大) 層斷坑仔梅

第三圖 梅仔坑斷層(大莆林梅仔坑道路ヲ横ギル)



(X) 前方(南)ノ地盤ハ比較的ニ六尺低落シ、西方ヘモ六尺移動セリ。
 (X) ハ震前相連續セル道路ナリ。

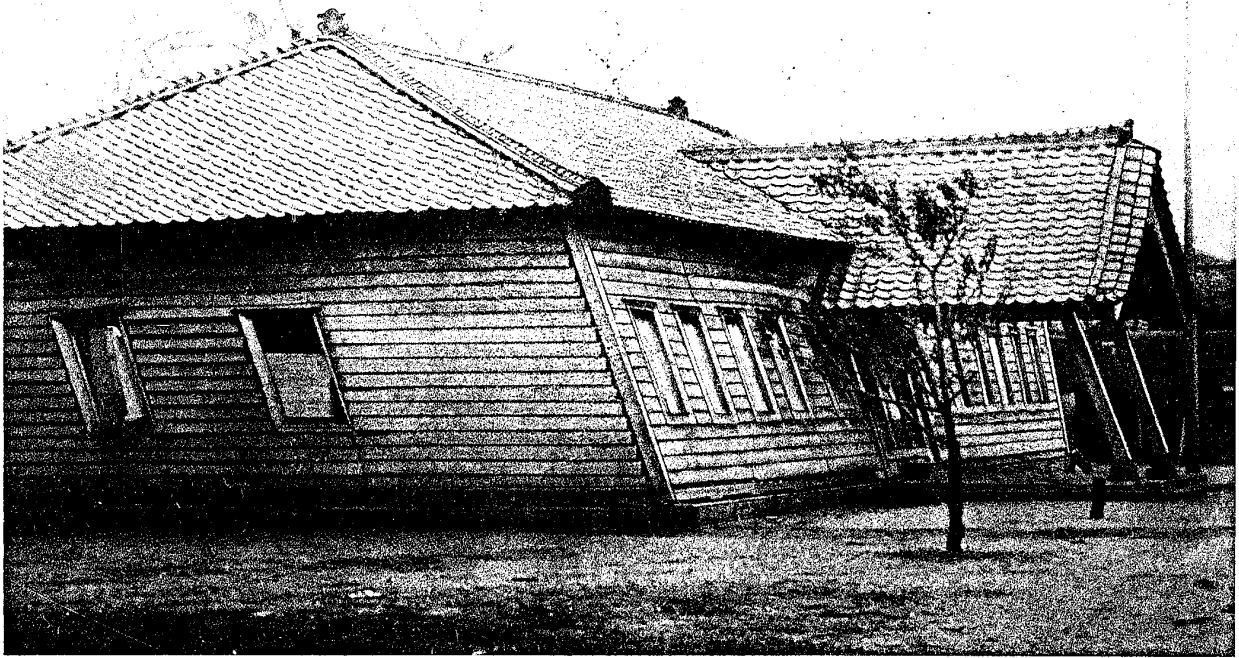
第四圖 同上ノ續キ(斷層ヲ南東ヨリ見ル)



左側(南方)ノ地ハ比較的ニ六尺低落シ、全般ニ斷層線ニ向ツテ傾下ス。

木造家屋ノ震害

酒田貧民學校ノ大傾斜 (大森撮影)



木造家屋ガ容易ニ倒潰セザル見ベシ

第五圖 明治二十七年十月廿二日山形縣地震

羽後國仙北郡強首村長養寺ノ全潰 (加藤常次郎氏撮影)



平屋ハ普通屋根際ニテ柱折ル、爲メ屋根チ潰ルモノトス

第六圖 大正三年三月十五日秋田縣地震